



今さら聞けない…

# 教育用語

# Q&A?

…… Vol.3 ……



## Q1

学力テストの結果が  
学校別に公表されるって本当?

毎年4月に、全国の小学校6年生と中学校3年生が全国学力・学習状況調査を受けています。

その結果は、速やかに集計されて、全国の児童・生徒の学力の定着の状況が分析されます。

これまでは、学校別の結果を公表すると、学校を序列化し、また学校間競争をいたずらにあおることになる、という心配から、原則、公表しないことになっていました。

しかし、昨年、文部科学省は「全

国学力・学習状況調査の結果を区市町村の判断で公表することができる」と発表しました。これによって、各校を設置している教育委員会は、市民等から求められると、各校の結果を公表せざるを得ない状況になっています。

学校別の結果が公表されると、当然、各学校がその自治体で何番目であるかが、児童にも保護者にも地域にも公になります。学力とはペーパーテストだけで測れるものではあ

りませんが、「うちの学校は…」という話題に直結してしまいます。

そうしたことに惑わされずに児童に、**確かな学力を身に付けさせる**ことがこれまで以上に求められるでしょう。またテストの平均点に一喜一憂するのではなく、**学習意欲を高め、自ら学ぼうとする姿勢を身に付けさせる教育を進めている**ことを学校としてもPRして行く必要があるでしょう。

## Q2

小学校におけるキャリア教育では、どういったことに  
取り組めばいいの?

ポイントは2つあります。①**将来について夢やあこがれをもつことの支援**と、②**現在の学校での学習を将来につなげて「学ぶ意義」を認識させるための指導**です。

すでに就きたい職業等がある児童に対しては、それに固執して視野が狭くならないよう、関連する職業などを調べてみる活動が重要です。例えば、パティシエにあこがれている場合には、製菓に限定せず、「美しいもの」や「おいしいもの」を作り、消費者に届けるまでのプロセスに関連する様々な職業に目を向けさせたいですね。将来に対する夢がまだない児童に対しては、焦りは禁物です。その子のよさや得意なことを見だし、褒めて、**自らの多様な可能性を自覚できるように**しましょう。

学ぶ意義を認識させる上では、「こんな勉強をしても将来役に立つのかな?」と不安になることも少しずつ増える高学年での指導の充実がカギを握ります。「今日勉強したことは、実は、こんな職業でも使われているんだよ」と伝える機会をぜひ設けましょう。

そして、これらの実践の基盤として最も大切なのは、先生方ご自身が生き生きと毎日を過ごすことです。**先生方の日々の姿そのものが、「大人になるって素敵なことだよ」というメッセージになるのです。**

(監修:筑波大学人間系 藤田 晃之 教授)

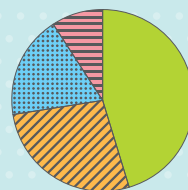
## Q3

教科書や教材のユニバーサルデザインという言葉  
を最近よく聞くけど、  
どんなことなの?

ユニバーサルデザイン (UD) という考え方は、アメリカの建築学者ロナルド・メイヌさんが提唱し始めたもので、「**できる限り多くの人に使いやすい製品や環境を設計・構築する**」という考え方で。

特に教科書や教材においては、色弱の児童・生徒にも見やすい色使いをしたり、資料の配置や行間の広さを工夫したりといった取組みが行われています。

ユニバーサルデザインの例 (グラフ)



ユニバーサルデザイン



通常

ユニバーサルデザインの例 (書体)

なり

ユニバーサルデザイン書体

なり

通常書体